

乳腺 X 線撮影

・マンモグラフィ

マンモグラフィ（乳線 X 線撮影）は専用の装置を用いて撮影します。乳房を撮影するのに適した X 線を用いる事で、乳房の異常を写しだすことができます。特に、1mm 以下の小さな石灰化を写しだすことができ、しこりとして触れないような早期乳がんの診断に用いられます。また乳がんなどの悪性の病気だけでなく、良性のものも写ります。写った影がどんな大きさや形をしているか、乳腺より白く写るかなどの特徴をみて、診断します。

マンモグラフィは、乳房を圧迫して撮影します。また、気になるほうの乳房だけでなく、左右両方の乳房を撮影します。当院のマンモグラフィ装置はデジタル・ブレスト・トモシンセシスが撮影できます。トモシンセシスは乳房の奥行き方向の情報を得ることで薄い断層画像（3D）を作成でき、通常のマンモグラフィでは乳腺と重なってわかりにくい病変を映し出すことが期待できます。1 回の圧迫で通常のマンモグラフィとトモシンセシスが撮影できますが、圧迫する時間が長くなります。



・検査を受けられる方へ

- ・上半身は裸になっていただきます。また、眼鏡やネックレスをはずしていただき、髪の毛が写らないようにまとめていただきます。
- ・制汗剤やパウダーは、誤って病変のように写ってしまうことがありますので、拭き取っていただきます。
- ・以前に豊胸手術やペースメーカーの埋め込み術などを受けられた方は、撮影前に申し出てください。
- ・乳房を圧迫して撮影しますが、我慢できない場合は遠慮なくお知らせください。
- ・撮影終了後は画像の確認を行いますので、更衣室でお待ちください。
- ・検査時間は更衣から撮影終了まで約 10 分から 15 分程度です。

・トモシンセシスガイド下吸引式乳房生検

マンモグラフィで乳がんが疑われる石灰化病変に対し、専用の針を用いて組織を吸引し採取する検査です。

当院では、横向きで寝た体勢または座って検査をします。まず圧迫板で乳房を固定し、デジタル・ブレスト・トモシンセシスを撮影します。次に、局所麻酔を行い専用の針を穿刺後、針先の開口部より組織を吸引し採取します。得られた組織の病理診断を行います。検査時間は約 40 分から 50 分程度です。検査結果は、後日外来診察時にお伝えいたします。



・よくある質問

Q：なぜ、左右両方撮影するの？

A：乳房の中には乳腺や脂肪などが含まれており、人によりさまざまな分布をしています。しかし、左右の乳房は似たような分布をしており、同じように撮影した左右の写真を比較することで異常な影が探しやすくなります。

Q：なぜ、強く押さえるの？

A：押さえずにそのまま撮影すると、乳腺や脂肪の重なりにより乳がんが写りにくくなります。圧迫して乳房の組織を広げることによって鮮明な写真となり、乳がんを発見しやすくなります。また、薄くすることでX線の量を少なくできるという効果もあります。

Q：検査の待ち時間は？

A：検査時間は、一人あたり 10 分から 15 分程度かかります。検査室前の番号案内に表示されている人数を見ていただければ、おおよその待ち時間が分かります。また水曜の午後は乳房生検を行っていますので、1 時間から 2 時間の待ち時間が発生します。できるだけこの時間帯は避けてご来院いただきますようお願いいたします。